

軽耐久ライセンス実技試験の概要 2022 年

(装備に関する事項)

- ・ 装備は「軽耐久特別規則書 第3条 第2項」に準ずる。
- ・ 長袖、長ズボン、シューズ、ヘルメット、グローブを着用。
- ・ 特に、足首が露出してしまうショートソックスの着用はNGです。
- ・ ネックプロテクターは必ず装着すること。

(実技試験の内容)

- ・ 実技試験は3周で行う。1周目のP3地点で、左ウインカーにて本コースを外れてランオフエリアに停車する(車両のトラブル時を想定)。その後ランオフエリアの端から本コース優先で、右ウインカーにて発進する(本コースへの復帰を想定)。2周目はフルコース(コントロールラインからコントロールラインまで)を1周回する。3周目はピットインの周、最終ヘアピンコーナーで右ウインカーを出し、ピットインを行う。
コース図より、上記の操作場所を良く確認しておく事。
- ・ 試験官は外部より、受験ドライバーの運転技量を確認する。初めに、クラッチ操作がきちんと行えスタート出来る事を確認する。あくまでも多数の車両が走る中で、スムーズなアクセル、ブレーキ、シフトアップ、ダウンが行えて、一定のペースで周回出来る事を確認する。同時にラップタイムを計測し、一周のベストタイム1分40秒から1分落ちの2分40秒以内で周回出来る事が合格の条件。
- ・ 各ポイントでの的確なウインカー操作も確認する。
- ・ SL信州のコース図を良く確認しておく事。
- ・ 走行が終了したら、受講証明書の実技欄に試験官がサインして回収する。
- ・ 残念ながら、不合格の判定を出した受験者へは、何がダメだったのか、不合格の理由を試験官より説明する。